

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第1回坂戸市健康なまちづくり審議会
開 催 日 時	令和元年11月26日 13:30~15:10
開 催 場 所	坂戸市立市民健康センター 機能訓練室
会 長 の 氏 名	金子 嘉徳
出席者（委員）の 氏名・出席者	清水 要 川崎 剛 山王丸 靖子 金子 嘉徳 真殿 仁美 松本 勝 鈴木 博貴 小田島 京子
欠席者（委員）の 氏名・欠席者	田中 久子 亀田 康好 弓削多 洋一 青木 繁
傍 聴 者 数	0名
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	市民健康部長 細野 英也 次長兼市民生活課長 高山 康彦 市民生活課副課長 福島 隆明 市民生活課健康政策担当課長補佐 片野 恵理 市民生活課健康政策担当主任 佐藤 千絵 市民健康センター所長 有田 さおり 市民健康センター成人保健担当所長補佐 片桐 美佳 市民健康センター母子保健担当技師 高橋 貴沙羅
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 審議事項 （1）第2次坂戸市健康なまちづくり計画に関連する事業の実施状況について ①平成30年度の実施事業について ②令和元年度の予定事業について （2）第2次坂戸市健康なまちづくり計画中間年次改訂版を踏まえた取組の共有について （3）その他 4 閉会
配 布 資 料	資料1-1 第2次坂戸市健康なまちづくり計画の「目標項目」別の取組状況 資料1-2 第2次坂戸市健康なまちづくり計画に関連する事業（平成30年度に実施した事業） 資料2-1 第2次坂戸市健康なまちづくり計画の「目標項目」別の取組状況 資料2-2 第2次坂戸市健康なまちづくり計画に関連する事業（令和元年度に実施を予定している事業）
	議事の経過
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事 務 局	令和元年度第1回坂戸市健康なまちづくり審議会を開会します。（出席

		者8名、欠席者4名、坂戸市健康なまちづくり審議会条例第6条第2項の規定により会議は成立)
事務局	審議事項(1)①説明	
会長	何か質問がありますか。	
委員	評価Cの緑のカーテンの事業にどのくらい予算がかかっていますか。	
事務局	予算については調査しておらず、把握しておりません。	
委員	評価Bの事業のうち、今年度で終わるものはどのくらいありますか。	
事務局	今年度で終わる事業はありません。評価C以外は継続の予定です。	
委員	評価の基準については客観的な評価ですか。誰が評価していますか。	
事務局	主に主観的な評価となっています。事業の担当者が評価し、担当課として報告されています。	
事務局	審議事項(1)②説明	
会長	何か質問がありますか。	
委員	評価について、例えば参加予定人数の8割位が参加していれば評価をAとするなど、やはり客観的な評価をした方がよいと思います。市民が事業を知らないこともあるので、周知の工夫が必要かと思えます。特に歯科の事業はほとんどが乳幼児対象であり、成人対象の糖尿病の健診時などに歯科健診についてのお知らせを行うと参加者が増加するのではないのでしょうか。	
事務局	今年度は成人健診案内のチラシの裏に成人歯科健診の案内を印刷するなどの工夫はしましたが、今後も検討していきます。	
委員	歯周病と心疾患の関わりもわかってきています。歯科健診の頻度について成人は10年に1回しか機会がありませんが、5年に1回とするなどした早期発見が大事です。あごの写真を撮ることを健診項目としている自治体もあります。歯科口腔保健推進計画が充実してきてはいるが、成人歯科健診については頻度、内容について、乳幼児対象だけでなく、今後予算と共に充実していくことが今後の課題かと思えます。	
委員	乳がん検診の受診率は、日本はアメリカに比べて低くなっています。がん検診、糖尿病、高血圧等について医師会からの講演が減っているのではないですか。一般に広く周知することも必要と思われます。	
事務局	医師会には骨粗しょう症についての講演をお願いしていますが、今後、がん検診等についての講演も検討したいと思えます。	
委員	なぜ市の予算を使って健康づくりに取り組むのか、健康づくりがどこにつながるのかを市民は理解していますか。広報の方法、タイミング、対象者についてどのようにしていますか。	
事務局	個々の事業について周知はしています。ホームページ、広報での周知が現状であるので、SNSなど若い人にも興味関心を持ってもらえるような媒体が必要だと思います。数値を出しながら市民に響くような周知方法を検討していきます。	
委員	これだけの事業をしていて、主観的な評価はいかがなものでしょうか。参加人数で評価する、アンケートをとるなどが必要かと思えます。事業数も多く効果があるのかも疑問です。	

事務局	アンケート項目等によって、数値が出せるものや目標値など客観的な評価も事業によっては出せるのではないかと思います。 所管とも評価の方法についても検討していきたいと思います。
委員	組織の中では事業について学校でもPDC Aサイクルで行っています。市でも各事業について自己評価だけではなく、外部評価、第三者評価をしていると思いますが、各部でも外部評価を行っていますか。
事務局	全事業のうち、いくつかを対象として外部評価を受けています。現在のABC評価は主観的評価ですが、数値的に満たしていればA、改良の余地があればBなどの評価にもなります。一律の評価は難しいと思うが、来年に向けて検討したいと思います。
委員	健康づくりは自然環境の変化に柔軟に対応することができていますか。
事務局	各担当で対応は考えていると思いますが、詳細なところまで及ばない部分もあるかと思うので、今後の検討課題とさせていただきます。
会長	重複している事業の予算は他に回せると思います。また、評価について、基準的なものを設けると納得できる数値が出るのではないかと、例えばフレイルについて、次はこの疾病などと他の領域からも展開していくように関連性のあるものを紹介するとよいのではないかと思います。
委員	高齢者に対する食事講座をしていますが、歯が悪くて、噛めないため食べられなくなり、弱っていく人を見ています。 歯科健診、講演会も開催しているので、やはり、広報の仕方、フレイルにもふれながら参加しやすいような方法を考えてもらいたいです。 高齢者を誘い込み、健康長寿につなげてもらえたらと思います。
事務局	重複事業もあると思われます。今後は高齢者対象事業でもフレイルに触れるなど、生かしていきたいと思います。
委員	アンケートや段階をつけた自己評価表は、大学でも活用しています。 やはり客観的評価は必要だと思います。
会長	審議事項（2）について委員の皆様から御発言をお願いします。
会長	私は、元気にし隊として運動のグループで活動しています。地域の方に元気にし隊が考案した体操を実施していただいています。大学では学生と地域の方が交流するような科目を取り入れています。
委員	女子栄養大学と連携して食育プログラムを行っています。
委員	大学で市民公開講座を土曜日に開催しています。訪問診療などの関係で学生が高齢者の介護施設への見学をしています。
委員	政策面で健康についての意識を高める、健康増進に取り組むのは国民の責務であるということを学生に伝えています。
委員	健康に関する媒体を食堂に置く取り組みを大学で行っています。 また、個人的には、小学校の学校応援団に所属し、食に関する本を選んで読み聞かせのボランティアを行っています。
委員	歯科口腔的に疾病を抱えた患者さんの治療をしています。高齢になっても自分の歯で咀嚼できるよう8020運動を行っています。
委員	坂戸の子供に坂戸を好きになってもらおうと民話を漫画にするなどいろいろな行事を行っています。

会	長	審議事項（3）その他について委員の皆様から何かありますか。	
委	員	評価の基準を作っていただきたいです。	
委	員	さかろん、さかっちとマスコットが2つあり、使い分けているとのことだが良いなと思っています。	
委	員	実施する部署、担当者の認識を改めてもらうため、健康増進という目的をはっきりとし、事業を実施する考えをしっかりとっていただきたいです。	
委	員	戦略を持って事業を動かしていくことが大事です。	
委	員	今後の予定について教えてください。	
事	務	局	本日の御意見を踏まえ、今年度の事業実施報告について、来年度に審議会を開催する予定です。
会	長	以上で、本日の審議事項は全て終了したので、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。	
事	務	局	長時間ありがとうございました。以上をもちまして第1回坂戸市健康なまちづくり審議会を閉会します。ありがとうございました。